

夏の交通事故防止県民運動が実施されました

7月20日から8月20日までの期間夏の交通事故防止県民運動が実施されました。初日には、元栗橋東京電力変電所前にて、境地区交通安全協会五霞支部・五霞町交通安全母の会境警察署の協力により、夏のキャンペーンが実施されました。

当日は、ドライバー300名へ交通安全のチラシとうちわの配布を行い、交通ルールの遵守及び交通マナーの向上を呼びかけました。

また、期間中、防災行政無線を使い、東西小学校児童による広報活動を実施し、町内の交通事故防止を広く呼びかけました。



交通安全施設危険箇所確認作業が実施されました

この時期、枝葉等が道路上に伸び出てしまい危険となることから、毎年8月第1日曜日に道路の交通安全確保のため、町内全域を対象とした交通安全施設危険箇所確認作業を実施しています。

今年も、8月5日に境地区交通安全協会五霞支部が主体となり、両駐在所警察官の協力のもと、交通安全上危険となる箇所やカーブミラー・交通標識等の点検確認を行いました。道路に面した山林等を所有する方は、今後も定期的な枝葉等の剪定により、交通事故防止にご協力をお願いいたします。



赤ちゃんふれあい教室が開催されました

7月25日、保健センターにおいて次代の親となる中学生を対象に、赤ちゃんとのふれあいを通じて命の大切さを学ぶ「赤ちゃんふれあい教室」が開催されました。

当日は、9名の中学生が3〜5ヶ月健診を受診した赤ちゃんを抱っこしたり、あやしたりして赤ちゃんといふれあいました。

中学生は、赤ちゃんを目の前にすると自然に笑顔になり、「とつてもかわかった。」「抱いた時とても温かった。」「と、今回の教室で赤ちゃんの成長やかわいらしさを学ぶ貴重な体験となりました。



親子料理教室が開催されました

夏休みに親子で料理を作り、作る楽しさや、バランスの取れた食生活の大切さ等を学んで欲しいと食生活改善推進会の主催で、保健センターを会場に親子料理教室が開催されました。当日は22人の親子が参加し、季節の野菜を使った献立、サモサ、ほうれん草ミラクルスープ、フルーツ白玉、おにぎりに挑戦し、参加した子どもたちも真剣に包丁を動かしていました。男子の参加者も多くおにぎりを上手にぎっていました。

